

就農までのスケジュール

ステップ1 見学会

- 茶産地の見学会を行います。茶農家の仕事の様子や定住することとなる地域の特徴・生活環境を見学していただきます。ご都合に合わせて個別に設定させていただきますので、まずはお問い合わせください。

ステップ2 インターンシップ

- 就農インターンシップ(短期1～3日、長期最大6ヶ月)により茶農家とともに茶園管理作業や製茶作業を行い、自身の茶業経営の適性など判断していただきます。
- 就農の意思が固まれば、定住先の住居の確保、就農に向けた事業利活用などについて支援を受けることができます。

ステップ3 実践型学舎

- 宇治茶実践型学舎で2年間の研修を受けます。
1年目: 茶業研究所において茶園管理、製造実習、座学など基本技術の習得
2年目: 就農予定地を中心とした茶園管理、製造実習
- 自営就農または雇用就業をめざします。

茶業経営の開始

- 就業・就農を開始します。
- 就農後も京都府と地元がバックアップします。



問い合わせ先	連絡先	受付時間
宇治茶実践型学舎 (京都府茶業研究所内)	TEL:0774-22-5577	月曜～金曜 8:30～17:15
京都府経営支援・ 担い手育成課	TEL:075-414-4942	月曜～金曜 8:30～17:15
(一社)京都府農業会議 農林水産業ジョブカフェ	HPから事前予約が 必要です HPはこちら⇒	月曜～土曜 9:00～12:00 13:00～16:00



あなたの夢
宇治茶でかなえませんか

京都府 宇治茶実践型学舎

京都府 宇治茶実践型学舎

- ◆ 京都府では、宇治茶生産を担う新規就農者を応援する制度として、令和元年に宇治茶実践型学舎事業を設立
- ◆ 数日間～数ヶ月のインターンシップ研修で茶業作業を体験後、茶農家として必要な研修を2年間実施
- ◆ 研修終了後、スムーズに茶業経営が開始できるよう支援を実施



募集対象者

- ◆ 一定の茶栽培経験を有し、茶業経営を目指す概ね40歳未満の就農希望者で経営する茶園の地域に定住し茶業経営に従事できる方

募集定員・修業年限

- ◆ 若干名、修業年限2年

研修内容

- ① 栽培技術
茶園の栽培管理技術実習及び座学
(育種、茶園栽培、施肥管理、病虫害防除etc)
- ② 製造技術
揉み茶製造、てん茶製造、再製技術に関する実習及び座学
- ③ 茶業経営
原価計算からマーケティングまでの経営研修や府内茶農家、関係機関との交流
- ④ 実習
現地茶園における茶園管理、製造実習

研修受講料

- ◆ 年間118,800円
卒舎後、府内で茶業に5年就業した場合は同額を交付する制度があります

募集スケジュール

- ◆ 募集期間: 随時(未経験の方の場合、選考前に就農インターンシップに参加必要となります)
- ◆ 面接: 応募時に調整

利用可能な支援制度

- ◆ 宇治茶学舎在籍中
農業次世代人材投資事業(就農準備資金)
最長2年 給付金1人150万円(一定要件有り)
- ◆ 就農後
農業次世代人材投資事業(経営開始資金)
最長3年 給付金 1人150万円 夫婦225万円(一定要件有り)

